



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 ケイヒン株式会社

上場取引所 東

コード番号 9312 URL <https://www.keihin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 光延

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 2023年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	48,642	18.1	3,183	24.1	3,322	24.5	2,274	25.9
2022年3月期第3四半期	41,174	13.6	2,565	40.0	2,669	41.7	1,806	36.5

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 2,999百万円 (74.7%) 2022年3月期第3四半期 1,717百万円 (54.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	348.41	—
2022年3月期第3四半期	276.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	44,393	24,165	54.4
2022年3月期	41,989	21,493	51.2

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 24,165百万円 2022年3月期 21,493百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	9.0	3,650	16.2	3,965	20.6	2,700	19.3	413.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	6,536,445 株	2022年3月期	6,536,445 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	7,537 株	2022年3月期	7,499 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	6,528,938 株	2022年3月期3Q	6,529,060 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日まで）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限の緩和に伴い持ち直しの動きがみられたものの、急激な円安や資源価格高騰による物価上昇、ロシアのウクライナ侵攻の影響により、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループにおいては、国内物流事業は、倉庫保管・入出庫の取扱いが増加しましたが、配送取扱いの減少により減収減益となり、国際物流事業は、海運貨物およびプロジェクト貨物の取扱いが増加するとともに海上運賃高騰もあり増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は486億4千2百万円（前年同期比74億6千8百万円の増収、18.1%増）、営業利益は31億8千3百万円（前年同期比6億1千8百万円の増益、24.1%増）、経常利益は33億2千2百万円（前年同期比6億5千2百万円の増益、24.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億7千4百万円（前年同期比4億6千8百万円の増益、25.9%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減(△印減)	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	21,400	19,905	△1,495	△7.0
国際物流事業	20,521	29,489	8,968	43.7
セグメント間内部売上高	△748	△753	△4	—
合計	41,174	48,642	7,468	18.1

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、保管・入出庫の取扱いが増加し、売上高は57億9百万円（前年同期比8.2%増）、流通加工業の売上高は43億7千1百万円（前年同期比17.3%減）、陸上運送業は、配送取扱いが減少し、売上高は91億9千3百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は199億5百万円（前年同期比14億9千5百万円の減収、7.0%減）、営業利益は20億6千8百万円（前年同期比1億6千万円の減益、7.2%減）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、海運貨物およびプロジェクト貨物の取扱いが増加するとともに海上運賃高騰もあり、売上高は265億2千1百万円（前年同期比55.0%増）、航空運送取扱業は、輸出入貨物の取扱いが減少し、売上高は14億4千2百万円（前年同期比19.0%減）、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも減少し、売上高は15億2千5百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は294億8千9百万円（前年同期比89億6千8百万円の増収、43.7%増）、営業利益は23億2千9百万円（前年同期比8億2千7百万円の増益、55.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して24億4百万円増加し443億9千3百万円となりました。この要因は、主に現金及び預金の増加により流動資産が22億7百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比較して2億6千8百万円減少し202億2千7百万円となりました。この要因は、主に営業未払金が5億3千4百万円増加したものの、借入金が8億4千2百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、利益剰余金の増加及び円安に伴う為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比較して26億7千2百万円増加し241億6千5百万円となりました。

純資産の増加及び借入金の減少により、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.2%から54.4%へ改善し、借入金依存度は、前連結会計年度末の23.0%から19.9%へ低下しました。

決算年月	2021年12月	2022年12月	2022年3月
自己資本比率 (%)	49.6	54.4	51.2
借入金依存度 (%)	24.1	19.9	23.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産  
借入金依存度：借入金残高（社債含む）／総資産

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年11月4日公表の予想数値を据え置いておりますが、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,104	8,691
受取手形及び営業未収金	4,654	5,116
電子記録債権	226	234
その他	1,384	1,537
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	13,365	15,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,974	48,463
減価償却累計額	△35,159	△35,947
建物及び構築物(純額)	12,814	12,515
機械装置及び運搬具	2,898	3,073
減価償却累計額	△2,381	△2,470
機械装置及び運搬具(純額)	516	603
工具、器具及び備品	2,240	2,268
減価償却累計額	△1,915	△1,991
工具、器具及び備品(純額)	325	277
土地	6,809	6,809
リース資産	1,378	1,361
減価償却累計額	△686	△721
リース資産(純額)	691	640
建設仮勘定	73	66
有形固定資産合計	21,232	20,912
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	390	338
無形固定資産合計	1,367	1,316
投資その他の資産		
投資有価証券	4,879	5,547
繰延税金資産	304	206
その他	848	849
貸倒引当金	△42	△35
投資その他の資産合計	5,989	6,568
固定資産合計	28,589	28,796
繰延資産		
社債発行費	33	23
繰延資産合計	33	23
資産合計	41,989	44,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,608	3,143
短期借入金	3,741	3,702
1年内償還予定の社債	860	1,760
リース債務	217	199
未払法人税等	816	540
その他	1,673	1,978
流動負債合計	9,917	11,323
固定負債		
社債	2,360	1,280
長期借入金	2,702	2,078
リース債務	543	506
繰延税金負債	27	144
役員退職慰労引当金	1,068	970
退職給付に係る負債	2,535	2,582
長期前受金	966	966
その他	374	375
固定負債合計	10,578	8,904
負債合計	20,496	20,227
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	11,193	13,141
自己株式	△14	△14
株主資本合計	20,971	22,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	749	1,075
為替換算調整勘定	△184	199
退職給付に係る調整累計額	△42	△28
その他の包括利益累計額合計	522	1,246
純資産合計	21,493	24,165
負債純資産合計	41,989	44,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	41,174	48,642
売上原価	37,164	43,948
売上総利益	4,009	4,693
一般管理費	1,443	1,509
営業利益	2,565	3,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	169	188
その他	29	62
営業外収益合計	199	250
営業外費用		
支払利息	64	55
為替差損	12	32
その他	18	24
営業外費用合計	95	111
経常利益	2,669	3,322
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	24	6
特別損失合計	24	6
税金等調整前四半期純利益	2,646	3,317
法人税、住民税及び事業税	883	1,010
法人税等調整額	△44	32
法人税等合計	839	1,042
四半期純利益	1,806	2,274
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,806	2,274



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,806	2,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	326
為替換算調整勘定	94	383
退職給付に係る調整額	14	14
その他の包括利益合計	△89	724
四半期包括利益	1,717	2,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,717	2,999
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,742	20,431	41,174	—	41,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	658	90	748	△748	—
計	21,400	20,521	41,922	△748	41,174
セグメント利益	2,228	1,501	3,730	△1,164	2,565

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,164百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△1,161百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,233	29,409	48,642	—	48,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	672	80	753	△753	—
計	19,905	29,489	49,395	△753	48,642
セグメント利益	2,068	2,329	4,397	△1,213	3,183

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,213百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△1,217百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。